

4

質の高い教育を
みんなに



特活

上田染谷丘高等学校 1年 山下航平



1,テーマ設定の理由

SDGsについて調べていたところ、日本の学校で当たり前に行われている「特活(特別活動)」を中心とする日本式教育の実践がエジプトで広まりつつあるという記事を目にして、なぜ日本式教育がエジプトで広まりつつあるのか、特活を進めることのメリット・デメリットはあるのか気になったから。

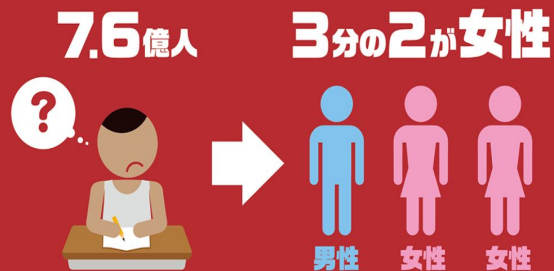
現状

これまでエジプトでは、学力偏重の詰め込み型教育が一般的で、保護者もそうした教育を望んでいた。先生は高圧的で、知識を教えるだけの一方通行。学校不足から1クラスに70～80人もの児童・生徒が詰め込まれることもあり、学びにくい環境だった。

「テストや受験のための勉強だけでは、学校を出ても若者は仕事に就けない。それでは国際社会の競争に太刀打ちできないとエジプト政府も気づき始めたようです」と言うのは、「学びの質向上のための環境整備プロジェクト」副総括のJICA専門家・瀬戸口暢浩（のぶひろ）さん。

そこで、学力だけでなく主体性、協調性、社会性などが身につく日本式教育に注目していたエル・シーシ大統領は日本に協力を要請。2016年2月の来日時に、安倍晋三首相と「エジプト・日本教育パートナーシップ(EJEP)」を締結し、保育園から大学まで、日本式教育の特徴を生かした包括的な協力を行うことで合意した。

世界の15歳以上のうち**7.6**億人が読み書きできない



出典：環境省 平成29年版 環境・循環型社会・生物多様性白書 (<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h29/html/hj17010102.html>)

初等教育就学年齢の子供の**9%**が学校に通っていない



出典：環境省 平成29年版 環境・循環型社会・生物多様性白書 (<http://www.env.go.jp/policy/hakusyo/h29/html/hj17010102.html>)

先行して学級会などの活動を試験導入していた二つの公立小学校に加え、2016年9月にはさらに10校でスタート。2018年9～10月には、日本式の活動を取り入れ、施設・備品面でも「教室の広さは64平方メートルとする」「移動が容易な学校家具(机や椅子)を備える」といったガイドラインに沿って造られた公立校として、35の新設EJSが開校した。エジプトでは今後も日本式教育の導入を広く進める方針で、日本はその実現に向け円借款での資金支援も行っている。

「車は車線を守らず、ごみを平気で道端に捨てるような人もまだ多いエジプト社会で、特活の目的がどれくらいわかってもらえるのか、われわれとしても不安でした。しかし、子どもたちは自ら進んで歯磨きや掃除をしています。また親にごみのポイ捨てを注意する子もいるという話を聞き、人に伝えられるくらい自分のものになっているということに驚きました」と瀬戸口さん。教員たちにも変化が生まれ、他の学校との勉強会を開くなど積極的に日本式教育を学ぼうという姿勢が現れてきている。こうした取り組みやEJSの開校はニュースでも大きく取り上げられ、エジプト全体でも日本式教育は高い関心を集めている。

課題、問題点

「特別活動」は、長らく問題になってきた日本の教員の長時間勤務の一因になっているとの指摘もあり、学校行事などがほとんど実施できなかったコロナ期間を経て、働き方改革の観点から特別活動による教員の負担を減らそうという動きが出て来ている。日本の教員の働き方改革をしつつ、特別活動をどう続けていくのかが問題点だと思った。

提案

特別活動は日本にとって誇るべき良い点なのでもっと世界に向けて発信できるように、hpを作成などをすればいいのではないかと思った。

感想

質の高い教育をみんなに共有できるよう、日本とエジプトのような関係で国際的に様々な教育方法、教育面での経済的な支援をしていけばいいのではないかと思った。

参考、引用元

https://documentary.yahoo.co.jp/sdgs/shortfilm/yamazakiema_202307/

https://www.jica.go.jp/Resource/publication/mundi/1904/201904_03_01.html

<https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/17goals/4-education/>